

スポーツ推進委員だより

Vol.83

年2回発行

●発行: 令和7年9月 ●発行者: 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会 ●編集: 広報部 ●事務局: 058-214-2370

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会 (愛称:ねんりんピック岐阜2025)

「ねんりんピック」の愛称で親しまれています
「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。

厚生省(現:厚生労働省)創立50周年を記念して、昭和63(1988)年に兵庫県で第1回大会が開催されて以来、毎年都道府県持ち回りで、開催されています。

2025年の第37回大会は、岐阜県で開催され、令和7年10月18日(土)から10月21日(火)までの4日間、県内の全42市町村で56種目が行われます。

岐阜市においては、テニス、弓道、水泳、ボッチャ、ミニテニス、ユニカールの6種目を開催します。



第37回全国健康福祉祭ぎふ大会
ねんりんピック岐阜2025

清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪
2025年10月18日(土)～21日(火)



岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会 後期事業予定

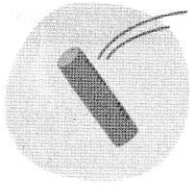
10月	18日(土)～21日(火) ●県内各地 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2025 25日(土) ●羽島郡笠松町 岐阜地区(後期)スポーツ推進委員研修会	1月	12日(月・祝) ●長良川競技場周辺 第74回新春ぎふシティマラソン
11月	13日(木)～14日(金) ●長野県 長野市 第66回全国スポーツ推進委員研究協議会	2月	13日(金)～14日(土) ●下呂市 第73回東海四県スポーツ推進委員研究大会 22日(日) ●岐阜市内体育館 体育館デー ※ファミリーパーク体育館を除く

モルック(Mölky)ってなに？

モルックとは、フィンランド発祥のニュースポーツで、木の棒（モルック）を投げて、木の的（スキットル）を倒し、得点を競うゲームです。

年齢や性別に関係なく、誰でも気軽に楽しむことができます。

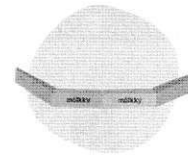
【用具】



・モルック
(投げる棒)



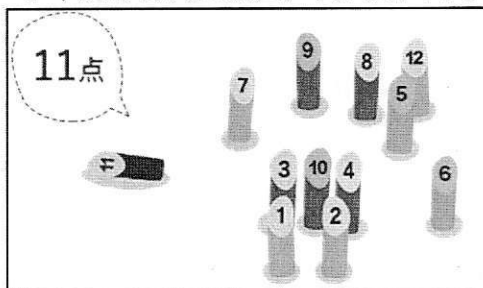
・スキットル
(番号が書かれた木のピン)



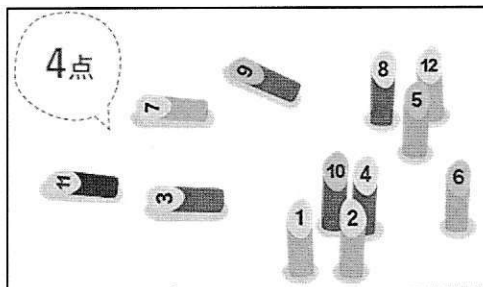
・モルッカーリ
(モルックを投げる位置を示す)

【基本的なルール】

1. 3.5メートル離れた場所に、スキットルを番号順に並べます。
2. チームごとに順番にモルックを投げ、スキットルを倒します。
3. 得点の数え方
1 本だけ倒れた場合、倒れたスキットルの番号が得点になります。



複数本倒れた場合、倒れたスキットルの本数が得点になります。



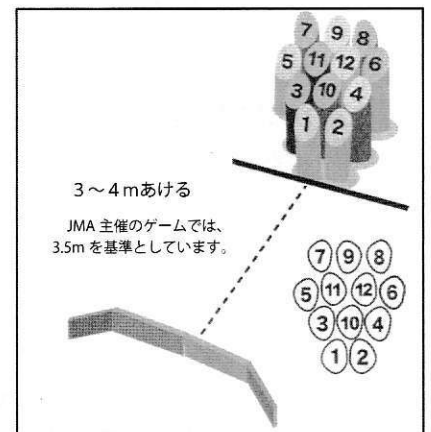
4. 倒れたスキットルは、倒れた場所にそのまま立てられます。
5. 50点を超えた場合は、25点に減点されます。
6. 3回連続でスキットルを1本も倒せないと、失格となり、得点は0点になります。
7. 最初に50点ちょうどになったチームが勝ちです。

【その他】

モルックを投げる際は、下投げが基本です。

モルッカーリに触れたり、踏み越えたりすると、ファウルとなり0点になります。

スキットルが完全に倒れていないと、得点はカウントされません。



第 46 回スポーツ・レクリエーション祭 第 30 回 FIAT 9 CUP(健康ソフティバレーボール大会)

■開催日：令和 7 年 5 月 25 日(日)

【大会結果】

リーグ	会場	チーム数	優勝・準優勝チーム	
V1	北部体育館	12	優勝：ピグレット	準優勝：城西花月
V2	北西部体育館	10	優勝：さくら	準優勝：木田 SSC
V3	西部体育館	10	優勝：チェリー	準優勝：ぎふさわやか

第 46 回スポーツ・レクリエーション祭 ふらばーるバレーボール交流祭

■開催日：令和 7 年 6 月 8 日(日) ■場所：北部体育館

【大会結果】

順位	A コート	B コート	C コート
1 位	さくら	チーム黒野	スポーツ推進委員 C
2 位	合渡	鷺山	白酔会
3 位	スポーツ推進委員 A	スポーツ推進委員 B	厚見ふらばーる部

令和 7 年度前期岐阜地区スポーツ推進委員研修会

■開催日：令和 7 年 7 月 19 日(土)

■場所：OKBぎふ清流アリーナ

岐阜地区のスポーツ推進委員 180 名が集まり、今後の地域スポーツのあり方と諸問題について研究協議を行い、資質の向上を図る研修会を行いました。

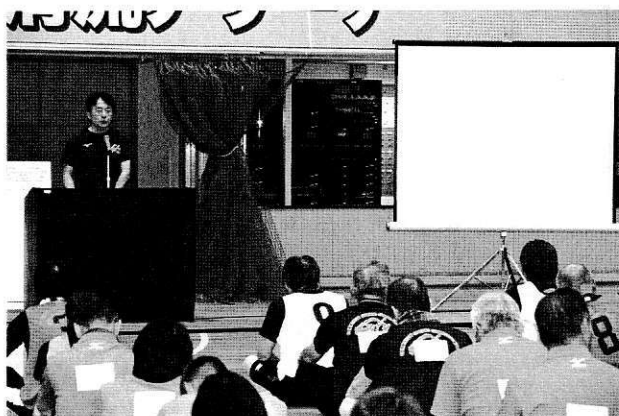
【研修会内容】

1. 「スポーツ推進委員リーダー養成講習会の報告」
全国 40 都道府県 76 名の参加者が集い、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて標記講習会が 1 泊 2 日で行われました。
スポーツ基本計画において、スポーツ推進委員の「資質の向上」を求めている状況を踏まえ、受講者である、岐阜市スポーツ推進委員連

絡協議会 山田眞裕副会長がパワーポイント使って講習会受講の報告を行いました。

2. 「岐阜市健康ソフティバレーボールの実技研修」
岐阜市が平成 2 年から始めました、健康ソフティバレーボールの普及の歴史や競技ルールを模擬チームでの実践を交えながら説明しました。その後、参加者が 15 チームに分かれて試合を行いました。

今後もスポーツを通じて地域の皆さんに深く関心・理解をして頂けるよう、資質の向上に努めて参ります。



高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン 2025

■開催日：令和7年4月27日（日）

令和7年4月27日（日）に、14回目となる「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン2025」が開催されました。

今大会は、ビダン・カロキ選手、ゴティトム・ゲブレシラシエ選手や設楽悠太選手を招待選手として迎え、ハーフ・3kmの部合わせて約1万名のエントリーがあり、8,551名のランナーが完走しました。

【大会結果】

○出走者 8,952名（第13回大会 7,645名）

○成績

＜ハーフ登録の部 男子＞

順位	氏名	所属	記録
1位	ダウィット・ウォルデ	エチオピア	1時間00分06秒
2位	シトニック・キプロノ	黒崎播磨	1時間00分13秒
3位	イエゴン・ヴィンセント	Honda	1時間01分17秒

＜ハーフ登録の部 女子＞

順位	氏名	所属	記録
1位	ジャネット・ニーヴァ	パナソニック	1時間07分37秒
2位	ゴティトム・ゲブレシラシエ	エチオピア	1時間08分29秒
3位	ユニスチェビチー・チュンバ	バーレーン	1時間09分07秒

■メイン会場：岐阜メモリアルセンター

当日は12時時点で21.1℃と、マラソン日和の晴天の中、会場・沿道合わせて約109,000人の観客がランナーを応援しました。

スポーツ推進委員72名は、緊急車両誘導係として従事し、2,500名弱の大会ボランティアと共に大会の安全な進行をサポートしました。

